

紹介

◎新刊

乳牛の生産獣医療

酒井健夫（日本大学名誉教授）

このたび、Dr. Carlos A. Risco 及び Dr. Pedro Melendez Retamal による「Dairy Production Medicine」が翻訳され、鹿児島大学名誉教授の浜名克己先生の監訳の下で、緑書房から『乳牛の生産獣医療』として出版された。

原著者らは、今日の家畜の診療現場での乳牛に係る獣医師の役割が、臨床獣医学の重視から、コンサルテーションや群管理衛生を取り入れた診療へと大きく変化してきたことを背景に、乳牛の群管理サービスを提供する際に用いる生産獣医学を取りまとめたと述べている。本書では乳牛の栄養、繁殖、臨床獣医療、遺伝、病理、疫学から経営、人的管理手法に至るまで、広範な内容が盛り込まれている。特に、乳牛の分娩前と泌乳期の栄養管理、分娩管理、繁殖管理、ストレス除去、ワクチン接種、哺乳期の管理、未経産乳牛の栄養管理、乳房炎や蹄病の予防衛生、遺伝、安楽死法、酪農生産の管理と評価等を、具体的かつ詳細に記述し、文献も豊富に引用し、大変有用な情報を提供している。

訳者らも、原著の特徴を、乳牛管理システム研究の専門や分野の垣根を変えて知見を集結し、栄養学・繁殖学・臨床獣医療・遺伝学・病理学・疫学の幅広い視野から論議・検証し、従来の獣医療の技術的な分野だけでなく、農業経営や従業員の人的管理等の分野も網羅し、生産現場の最新事例をアップデートして提供していることを挙げている。

わが国の今日の畜産環境は、飼養農家戸数の減少、

飼養規模の拡大、遺伝的素因や年齢が斉一化された家畜集団、飼養管理不備や密飼い等に基づく、疾病の多発化や感染症の集団発生、生産病や慢性疾患の増加、新興・再興感染症の発生の危機、畜産物の安全性確保に対する世論の高まり、風評被害等の多くの課題を抱えている。一方、家畜の管理は個体から群へ、事故の低減から予防対策の強化へ、損害防止から生産性と収益性の確保へ、実践的プロダクションメディスン、代謝プロファイルテストや農場 HACCP 認証制度を活用した飼養衛生管理等の向上が図られている。言うならば、フードチェーンの川上に位置する生産段階において、国民に安全性と品質が保証された畜産物を、安定的に提供することが最優先課題として、適切かつ科学的に対処された飼養環境の確保と生産獣医療の実践が不可欠となっている。

本書は、これらの乳牛の診療現場で直ちに役立つ情報を数多く取り入れ、しかも理解しやすくまとめられていて、乳牛の診療現場で活躍する臨床獣医師や保健衛生指導獣医師のみならず、獣医学を学んでいる学生諸君の学習にも役立つものと確信し、ここに推薦する。

著者：Carlos A. Risco

Pedro Melendez Retamal

監訳：浜名克己

判型：A4判 376頁

ISBN978-4-89531-219-6

定価：本体 16,000 円（税別）

発行：（株）緑書房（チクサン出版社）

問合せ：（株）緑書房（チクサン出版社）

TEL 03-6833-0560

FAX 03-6833-0576

E-mail : hagai@mgp.co.jp

案 内

第7回動物用ワクチン—バイオ医薬品研究会シンポジウム

日 時：平成27年9月9日(水) 13:00～17:00

場 所：北里大学獣医学部（〒034-8628 十和田市東二十三番町35-1）

テーマ：「再生獣医療の進展を目指して—日本が牽引する新分野—」

内 容：

第1部 再生獣医療研究の最前線

座長：佐々木伸雄（東京大学名誉教授）

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| ①「競走馬の腱・靱帯損傷に対する幹細胞移植治療」 | 笠嶋快周（日本中央競馬会競走馬総合研究所） |
| ②「母牛由来活性化リンパ球投与による免疫強化」 | 山口智宏（㈱ケーナインラボ） |
| ③「骨髄の再生に関する研究」 | 藤田直己（東京大学） |
| ④「生体内組織形成技術による心臓人工弁」 | 水野壮司（日本どうぶつ先進医療研究所） |

第2部 再生獣医療の進展をサポートする周辺体制

座長：小沼 操（北海道大学名誉教授）

- | | |
|--------------------------------|---------------------|
| ①「動物用再生医療等製品を取りまく状況と品質管理の考え方」 | 能田 健（農林水産省動物医薬品検査所） |
| ②「動物用再生医療等製品の開発のための試験法ガイドライン案」 | 平山紀夫（麻布大学客員教授） |
| ③「獣医領域における再生医療及び細胞療法のガイドライン案」 | 枝村一弥（日本大学） |
| ④「アニマル FIRM の設立とサポート企業の紹介」 | 濱岡隆文（(一)財生物科学安全研究所） |

参加費：無料

問合せ先：動物用ワクチン—バイオ医薬品研究会事務局（E-mail：jimukyoku@jsavbr.jp）

案 内

第25回 全日本獣医師テニス大会のご案内

日 時：平成27年10月24日(土)、25日(日)

場 所：青野運動公園アオノテニスクラブ
〒675-2404 加西市油谷町639-3
☎0790-45-1845

参加資格：日本在住の獣医師とその家族、関係業務従事者

大会内容：都道府縣市チーム対抗による各種ダブルス戦

参加予定：100名

問 合 せ：実行委員長 八百正明（北六甲動物病院）
〒651-1343 神戸市北区八多町附物910-4
☎078-981-8859 FAX 078-981-8633
E-mail：masa-yao@iris.eonet.ne.jp

紹介

◎新製品

カーフサポート® 6

栄養価が高く、免疫グロブリンを多く含んだ鶏卵乾燥物（全卵粉末）、腸内環境の維持に役立つオリゴ糖を配合した、哺乳期の子牛の健康維持を目的とした牛用混合飼料。

発売日：平成 27 年 2 月

製造発売元：日本全薬工業(株)

問合せ：日本全薬工業(株) LA 事業部

☎ 024-945-2319（ダイヤルイン）

URL：http://www.zenoaq.jp

メディダーム®

人用の医薬部外品の原料として使用され、感染性皮膚疾患の起因菌に抗菌作用を有するピロクトンオラミンを有効成分とした、犬のマラセチア皮膚炎の治療に効果的な犬用外皮用剤。

発売日：平成 27 年 7 月吉日

製造販売元（輸入発売元）：日本全薬工業(株)

製造元：デルタラボラトリーズ社（オーストラリア）

提携先：ブラックモアズ社（オーストラリア）

問合せ：日本全薬工業(株) CA 事業部

☎ 024-945-2332（ダイヤルイン）

URL：http://www.zenoaq.jp

募集

平成 27 年度 横浜市職員(社会人)採用試験

第一次試験日：平成 27 年 9 月 27 日（日）

申込受付期間：インターネット申込

7 月 15 日(水) 午前 9 時 00 分～

7 月 31 日(金) 午前 10 時 00 分

試験区分：衛生監視員（獣医師免許所持者）

採用予定人員：数名

職務概要：主に、動物愛護センターにおける動物の保護管理などの業務や、食肉衛生検査所におけると畜検査などの業務、また、健康福祉局や区役所、市場などで、食品関係施設や環境衛生営業施設などに対する監視指導・検査や、動物の保護管理などの業務に従事。

受験資格：

(1) 年齢：31 歳から 59 歳まで（平成 28 年 4 月 1 日現在）

※昭和 31 年 4 月 2 日から

昭和 60 年 4 月 1 日までに出生した人

(2) 職務経歴

①または②に該当し、日本国籍を有する人

①獣医師法（昭和 24 年法律第 186 号）の規定による獣医師の免許を取得した後、民間企

業、病院等における獣医師としての職務経歴を平成 20 年 7 月 1 日から平成 27 年 6 月 30 日までの間に 5 年以上有する人

②獣医師法（昭和 24 年法律第 186 号）の規定による獣医師の免許を取得した後、青年海外協力隊等として海外の民間企業、病院等における獣医師としての活動経歴を平成 20 年 7 月 1 日から平成 27 年 6 月 30 日までの間に 2 年以上有する人

※受験資格に関する詳細については、受験案内及びホームページで要確認。

試験の内容：一般教養、論文、面接

最終合格発表：12 月 3 日(木) 午前 10 時（予定）

試験に関する問合せ先：

横浜市人事委員会事務局任用課

☎ 045-671-3347～8 FAX 045-641-2757

職務に関する問合せ先：

健康福祉局総務部職員課

☎ 045-671-2385 FAX 045-664-4739

ホームページ：http://www.city.yokohama.lg.jp/jinji/shakaijin/

行事等

6月3日：食品安全委員会企画等専門委員会（第15回）
に藏内会長出席
6月4日：千葉県獣医師会定時社員総会に藏内会長出席
：獣医師賠償責任保険中央審議会
6月5日：全国緊急災害時動物救援本部第1回理事会
に矢ヶ崎専務理事他出席
6月11日：埼玉県獣医師会第67回定時総会に藏内会長出席
：中央畜産会第1回理事会に藏内会長出席
6月12日：秋田県獣医師会通常総会に北村顧問出席
6月14日：静岡県獣医師会第67回定時総会に藏内会長出席
6月15日：業務運営幹部会議

6月16日：第37回日本獣医師会雑誌編集委員会
6月18日：神奈川県獣医師会第68回定時総会（講演）
に北村顧問出席
6月21日：東京都獣医師会第4回定時総会に藏内会長出席
6月22日：第2回・第3回理事会
：第72回通常総会
6月27日：北九州市獣医師会創立40周年記念式典・祝賀会に藏内会長出席
6月28日：日本動物看護職協会第7回定時代議員総会・基調講演に藏内会長出席
6月29日：全国緊急災害時動物救援本部定時評議員会に北村顧問、境専務理事他出席

行事等案内

日本ウマ科学会 Dr. Mama and Dr. Steffey による麻酔講習会

I ウマの麻酔セミナー

日 時：2015年9月6日(日)
場 所：軽種馬生産技術者研修センター
内 容：①最新の静脈麻酔法 (Dr. Mama)
②症例検討会
(Dr. Steffey & Dr. Mama)
座 長：佐藤正人 (NOSAI 日高)
演 者：1～3 (NOSAI, SHC, HBA) 及び
討論会

II ウマの麻酔管理

日 時：2015年9月8日(火) 14:00～19:30
場 所：JRA 美浦 TC

主催・共催：日本ウマ科学会 臨床委員会
JRA 美浦トレーニング・センター

内 容：①最新の静脈麻酔法 (Dr. Mama)
②周術期の疼痛管理 (Dr. Steffey)
③麻酔実習：通常の静脈麻酔とスリングを応用した起立法
(Dr. Steffey & Dr. Mama)

座 長：久代明日香 (JRA 美浦 TC 診療所獣医役)
参加者：JRA 獣医職員、日本ウマ科学会会員
馬の臨床獣医師若干名

参加費：非会員 3,000円
非会員(学生) 1,000円
会員無料 (日本ウマ科学会会員)

応募締切：8月20日(木)

事前受付及び連絡先：JRA 競走馬総合研究所 企画調整室 間 弘子

E-mail : Hiroko_aida@jra.go.jp ☎ 028-680-7860 (直) FAX 028-647-0686